



ヒロシマ・ナガサキを語り継ぐということ

加藤 由美子

1998年から毎年ヒロシマ・ナガサキの被爆体験手記等を読み継ぐ朗読劇の公演を続け、今年15年目となる。スタートから10年間は、演劇集団地人会の台本「この子たちの夏」を上演してきた。この朗読劇は毎年夏、女優たちによって上演されていたもので、地人会はそれと同じ台本を市民に提供し、はらんきょうの会のような市民団体が2日に1回は日本のどこかで上演するほど全国に広まっていた。しかし、諸般の事情により地人会が解散となり2008年からは「この子たちの夏」台本が使えなくなった。

そこで、はらんきょうの会はヒロシマ・ナガサキを語り続けるためにオリジナルの台本を作ることにした。しかし台本の作成にはまず資料を収集しなければならない。私は明野図書館に何度も足を運んだりネットで調べたりして、ヒロシマ・ナガサキ・原爆に関する本を探した。しかし、すでに絶版になっている本も多々あり、そのようなとき図書館は強力な味方となる。身近な図書館の存在がとてもありがたい。

また、明野図書館で資料を探しているとき手に取った本に、何と私の中学校の同級生のお父さんの文章が載っていた。お父さんは原爆投下時、暁部隊にいて救援のため広島に行きそのときの様子を書いてしたが、そのため入市被曝したのだった。こんな身近にヒバクシャがいたなんて・・・！ そのお父さんは数年前に亡くなっている。

毎年新しい台本を作ることは、私にとって「ヒロシマ・ナガサキを語り継ぐ」意義を再確認する作業でもある。ヒロシマ・ナガサキの原爆投下直後の惨状はもちろんであるが、被爆しながら生きのびたもののその後ずっと原爆症に苦しむ被爆者、原爆投下時には広島・長崎にいなかったにもかかわらず、救援や肉親を捜すために広島・長崎に入り内部被曝により死んでいった人、胎内被曝、被爆2世・・・等、原爆—ヒバクチャー核の問題としてのスタンスで台本を構成している。

こうして2008年からは毎年新しい台本での朗読劇「あの夏の日の記憶」を上演しているが、3・11福島原発事故が起きてしまった今、ヒロシマ・ナガサキは決して過去の問題ではないと思う。私たち一人ひとりがもう一度ヒロシマ・ナガサキに向き合い、未来を作り出していかなければと思う。

今年は来る8月5日(日)に上演します。今回も小学生・中学生・高校生が朗読に参加します。ぜひお出かけください。

朗読劇「あの夏の日の記憶」

日時 8月5日(日) 午後1時30分開演 場所 筑西市立明野公民館 イル・ブリランテ

入場無料・託児有り

同時開催 * ミニコンサート

* 広河隆一写真展「フクシマ原発震災」

(かとう ゆみこ／はらんきょうの会代表)

8月の予定

●おはなし会 午後3時から児童室

8月12日(日)

『ねこのはなびや』
『くまさんのまほうのえんぴつ』

8月19日(日)

『おへそのあな』
『どこいったん』

●光る！泥だんごを作ろうよ

ふつうの土と水だけで、光る泥だんごが作れます。

日時：7月29日(日) 午前10時～午後3時 受付：9時30分～(雨天時は中止)

場所：明野図書館(視聴覚室に集合→屋外で作成)

申込：明野図書館に直接又は電話でお申し込みください。(7月25日まで)

持ってくるもの：軍手、ストッキング(みがくため)、ビニール袋(小)、お弁当

※1 当日は帽子とタオルを用意して、汚れてもよい服装で来てください。

※2 爪で泥だんごを傷つけてしまうので事前に切ってきてください。



●夏休み自由研究コーナー

自由研究や工作に役立つ資料を集めました。どうぞご利用ください。

場所：明野図書館 児童室 ※一部貸出禁止資料あり。

図書館カレンダー

8月 AUG						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

【開館時間】
午前10時から
午後6時まで

■は休みです。

9月 SEP						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

ーくらしに生かそうみんなの図書館ー 明野図書館 TEL:0296-52-2466

花さき山のホームページアドレスは、

<http://library.city.chikusei.lg.jp/hanasakiyama/index.html> です。